

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	施策名	② 保健・福祉サービスの総合化の推進
------	-----------------------------	----------------	--------------	-----	--------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆保健・福祉サービスの相談支援体制の充実のため、身近な場所である地区市民センター等を拠点として、保健と福祉の総合相談に取り組んでいる。 ◆市民が必要とする様々な保健・福祉サービスの情報を提供するため、保健と福祉のホームページの充実等に努めている。	◆地区における保健・福祉の総合相談取扱い件数は年々増加し、H19年比で、約20%の増加となっている。 ⇒今後も同様の傾向が続くと見通していることから、目標を達成することができる見込である。	96.7%	保健・福祉総合相談取扱い件数	件		35,000	45,279	46,637	48,035	49,476	96.7%
					37,611	34,086	42,434	46,107	47,828	49,000	99.0%
課題 ◆保健福祉サービスの提供体制の充実については、少子高齢化の進行、経済不況等の社会状況の変化による複雑多岐な相談を適切な支援につなげることが課題となっている。 ◆保健・福祉サービスの情報提供については、市民が求める情報を適時・的確に提供することが課題となっている。											
			市民意識調査(重要度・満足度)		重要度	70.0	71.1	71.8	77.0		%
					満足度	28.8	24.2	28.2	36.9		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
地域保健・福祉体制の充実		→	◆保健・福祉に関する総合的なサービスである保健・福祉の総合相談において、取扱い件数は年々増加しており、住み慣れた地域での保健福祉の相談・サービスの利用が、市民生活に定着してきている。 ⇒保健・福祉に関する総合的なサービスを、市民が身近な場所で利用できるよう、地域保健・福祉体制の充実を図る。	◆今後、長引く経済不況、震災の影響による生活不安、複雑な家庭環境による複数の問題を抱える人の相談が増加することが予想される。虐待、引きこもり等潜在的な要支援者の対応も重要な課題である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	保健福祉総合相談業務	全市民	H10	本庁舎における相談件数(件)	回	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	A	継続	保健福祉行政サービス全般における知識の習得に努め、スキルアップを図るとともに、市民のニーズに対応できるよう、相談・調整機能の充実や地域の資源などの情報収集や連携強化を図っていく。
						6,793	8,875	7,041	6,295				
2	苦情解決事業	福祉サービス利用者	H15	事例検討会回数(回)	回	1	1	1	1	1	B	継続	福祉サービス利用者の満足度を高めるとともに、利用者個人の権利を擁護するため、第三者委員や福祉サービス提供課などと連携しながら、引き続き本市の福祉サービスの質の向上に向けて取り組んでいく。
						1	1	1	1				